

# 平成24年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（1日目）

日 時：平成24年7月14日（土）

午前9時30分～午後6時

場 所：市民参画センター

出席者：審査委員 檜楨委員長、島委員、阿部委員、齋藤（秀）委員、清藤委員、  
齋藤（き）委員、小山委員、前田委員（事業番号13の審査から欠席）、  
吉本委員、東谷委員、長内委員、工藤委員、小林委員、田中委員、  
※1名欠席  
市民との協働推進課 佐々木課長、齋藤補佐、堀川係長、葛西主事、佐藤主事、  
阿保主事

## 1 公開ヒアリング・審査会

＜ヒアリング・審査方法＞

- ・1事業ごとに公開ヒアリング・審査を実施。（審査は採点方式によって決定。）
- ・審査委員が申請団体に所属する場合は、ヒアリングから審査まですべて外れる。
  1. ヒアリング …15分程度（7分以内で事業内容の説明。残り時間で質疑応答。）
  2. 審査 …20分程度（事業内容・金額について審議後、採点表に記入。）
  3. 採点結果発表…採点表集計後、休憩ごとにまとめて発表。

### 【審査項目】

審 査 項 目	
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる
費用の妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている

### 【審査採点】

区 分	評 価
審査項目に合致している	10点
やや、審査項目に合致していない部分がある	5点
審査項目に合致していない	0点

**【決定方法】**

採択…出席委員の合計の平均点が60点以上、  
かつ、各審査項目の平均点が3点以上

《審査内容》

●1：市民健康増進事業「第1回津軽岩木スカイラインを歩いてみよう会」／弘前歩こう会

**【主な意見】**

- ・平均寿命が低いなど、健康増進の課題を多く持つ青森県において、若いうちから健康づくりの生活習慣をつくる津軽岩木スカイラインを歩く事業は、非常に意味のある事業である。
- ・自動車専用道路のスカイラインを自転車で走るヒルクライムに加え、今回のウォーキングの事業と活用の幅が更に広がっていき、全国にもPRすることで、観光客への魅力アップにもつながってくる。
- ・雷雨等の天候により、やむを得ずイベントを中止せざるを得ない場合に、それまでかかった経費については認める必要があると考える。

**【採択結果】**

合計点 92.9 点 ≥60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 14 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.6
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	9.3
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.3
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.2
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	10.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.6
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	8.9
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.9
合計		92.9

●4：山岸堰改良事業／国吉町会

**【主な意見】**

- ・町内の堰に複数年計画でU字溝を設置する事業だが、毎年同様の事業を1%システムに申請して継続させるだけでなく、自分たちのところは自分たちで守るんだという危機意識を高めるなど、今後に向けて成長する取り組みも考えて欲しい。
- ・この事業は、行政がやるべきではないかなどの議論がこの場でされていることを、行政の内部に伝え、検討してもらいたい。

**【採択結果】**

合計点 85.7 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 14 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	10.0
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.9
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	8.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.5
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.6
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.6
合 計		85.7

● 11：こども達の芸術舞踊公演 2012 “マッチ売りの少女”

／ひろさき芸術舞踊実行委員会

**【主な意見】**

- ・オーディションで選ばれた子ども達による舞台公演を実施するというこの事業は、子ども達が自ら本気で何かを一生懸命頑張ろうとするきっかけ作りになると思う。
- ・子ども達の感動する心を育てるために、子どものための文化芸術はとても大切である。
- ・事業のサポーターを募って資金を得たり、中心地のみではなくて各地区の公民館などで公演回数を増やすなど、今後、事業を大きく広げて行ってほしい。
- ・子ども達が活躍できる場を創りたいと、今回の事業を企画した若い世代の人たちの活動を応援したい。

**【採択結果】**

合計点 76.8 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 14 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.1
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	7.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	6.8
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	7.1
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	8.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.3
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.2
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	7.9
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	7.1
合 計		76.8

● 15 : 「中野町会いこいの広場」整備事業／中野町会

【主な意見】

- ・町会が所有する財産を維持・補修する経費を捻出するのは大変なことであるのに、世帯数の少ないこの町会が大きな額を負担して整備しようというところに、事業に対する強い思いを感じる。
- ・広場をコンクリート舗装することが良いことなのか疑問は残るが、山菜採りや白神山地を望める場所として広場にきた人が歩きやすくなるなど、便利になる点もあるので、この事業を機会に町外の人に向けてもPRし、いこいの広場を活用して欲しい。
- ・町会役員も勤め人が多くなり、若い世代と接することが難しくなっている状況の中で、地域の絆がより強められるよう広場を活用して欲しい。

【採択結果】

合計点 81.8 ≥ 60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 14 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.2
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	6.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	8.2
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	7.1
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	8.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.9
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.6
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.2
合 計		81.8

●2：夏祭り in 原ヶ平12 / 原ヶ平町会

【主な意見】

- ・町会で夏祭りを継続して開催するためにも、補助金に頼って事業費を膨らませるのではなくて、毎年維持できるよう自分たちで工夫して予算を組む必要がある。
- ・地域コミュニティの構築や自主防災の必要性が叫ばれている中で、地域の絆を強めるための事業としては必要と考えるが、経費の面で、補助対象外と判断すべき項目が多いようなので、精査が必要。

【採択結果】

合計点 68.2 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 14 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.4
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	6.1
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	8.6
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	6.8
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	4.3
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	7.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.1
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	5.7
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	5.7
合計		68.2

●3：岩木町絆フェスティバル事業 / 岳暘ふるさと創生会

【主な意見】

- ・岳暘という地域の複数の町会同士をつなぎ、地域を盛り上げていこうという意気込みがあって良いと思う。
- ・「岳暘」は歴史のある名称なので、祭りだけではなく、歴史について勉強するなど、地域に対する意識を高めるような要素も取り入れてほしい。
- ・構成員が営業している店の駐車場を借り、電気代や売り上げの補填などのために使用料を払ってこの事業を実施することが気になる。
- ・地域の活性化のためには、みんなで協力して、盛り上げていこうという気持ちが大事である。そういった気持ちを強く出して事業を実施してほしい。

【採択結果】

合計点 75.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 14 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	7.1
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	7.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.3
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	6.1
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	6.8
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	7.1
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	6.1
合 計		75.0

● 13 : 安全・安心のまち（安全な町づくり推進事業）／北地区コミュニティ会議

【主な意見】

- ・活動人数を確保するため、地域の協力者を増やしていくことは安全・安心なまちづくり活動を長く継続させる上で、とても良い取り組みであると思う。
- ・地域の工業団地と対話の機会を持ち、活動の参加や費用負担などをお願いするなど、地域と企業が協力し合いながら活動して行ってほしい。
- ・この活動が呼び水となり、他の地域にも広がって行ってほしい。

【採択結果】

合計点 91.9 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.2
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	9.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.2
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	9.2
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.8
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.6
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.5
合 計		91.9

● 16：三大地区「地域の絆」冊子・「絆マップ」作製事業／三大地区地域づくり連絡協議会

【主な意見】

- ・地域の魅力や、危険な箇所を掲載した冊子を作成するこの事業は、他の地域でやっている事例がなく先進的である。
- ・この冊子を地域の大人と子どもたちが一緒に作成することで、住民の世代間交流を図ることができる。
- ・三大地区の各町会について、名前の由来や歴史を紹介する記事や、危険な場所を掲載し、読んでもらうことで、子どもたちが地域に愛着を持つきっかけとなるほか、地域の安全性の向上につながると思う。

【採択結果】

合計点 92.7 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.5
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.6
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	9.2
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.2
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.2
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.6
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	9.2
合 計		92.7

● 10：城西学区安全で安心な「地域安全マップ」作成事業

／城西学区子ども安全サポート推進事業部

【主な意見】

- ・子どもたちが地域住民と一緒にになって地域の危険箇所などを確認しながらマップを作成することで、自らが危険箇所に気づいて、自分の身は自分で守るという意識付けになる。
- ・マップを作成して、親や下級生に発表するだけでなく、各家庭に配布して地域の大人たちの危険意識も高めるような取り組みにしてほしい。

【採択結果】

合計点 93.5 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 13 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.2
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.6
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	9.6
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.6
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.6
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.8
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.2
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.8
合 計		93.5

● 18 : ~人とまちとをつなぎたい！持続的な取り組みを目指して~電車とバスの情報誌  
「ほっと」vol.2発行プロジェクト/H・O・T Managers

【主な意見】

- ・初めて弘前に住んだ人でもバスや電車の利用の仕方がわかる情報誌を発行する取り組みは、弘前市外から転入してきた人ならではの視点で、とても良い企画である。
- ・vol.2では、理解しにくいバスの路線系統なども掲載してほしい。
- ・大学生主体の活動であるため、後継者の育成も取り組んでほしい。
- ・公共交通機関活性化のために取り組んでいる他の団体と連携しながら、バスや電車をほとんど利用しない人も乗ってみたいくなるような情報も掲載してほしい。

【採択結果】

合計点 87.9 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択 (申請額どおり)

※審査委員 12 名で審査採点 (檜楨委員は審査から外れる)

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	9.6
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	9.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.6
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.8
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	7.9
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	7.1
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	7.9
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	8.8
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	9.6
合 計		87.9



● 9 : 弘前バリアフリーマップ制作プロジェクト

／弘前医療福祉大学・弘前医療福祉大学短期大学部 地域貢献室 学生会

【主な意見】

- ・高齢者やハンディを持った方など、利用者の立場に立ったバリアフリーマップを制作することは必要性があると考えますが、既存のバリアフリーマップとの違いや、弘前公園に限定したマップ作りが利用者のニーズに対応しているのか疑問である。
- ・事業費のウェイトを大きく占める講演会と、バリアフリーマップ制作とのつながりが不明瞭である。

【採択結果】

合計点 53.8点 <60.0点 ⇒不採択

※審査委員 13名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.5
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	6.2
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	6.5
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	4.6
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	5.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	6.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	5.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.2
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	3.5
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	3.8
合計		53.8

7月14日審査結果 (11事業のうち事業)

採択とする事業 10事業  
不採択とする事業 1事業

# 平成24年度第1回弘前市まちづくり1%システム審査委員会 会議録概要（2日目）

日時：平成24年7月15日（日）

午前9時30分～午後2時45分

場所：市民参画センター

出席者：審査委員 檜楨委員長、阿部副委員長、齋藤（秀）委員、清藤委員、  
齋藤（き）委員（事業番号8より欠席）、小山委員、東谷委員、  
長内委員、工藤委員、小林委員、田中委員 ※4名欠席  
市民との協働推進課 佐々木課長、齋藤課長補佐、堀川係長、葛西主事、佐藤主事  
阿保主事

## 1 公開ヒアリング・審査会

7月14日に引き続き審査。

《審査内容》

### ●14：泉野祭り／泉野町会

#### 【主な意見】

- ・町会の人同士の気心が知れ、町会での行事が増えていくところまでは時間がかかるが、夏祭りというのは、住民の交流を深める一つのきっかけになると思う。
- ・「防災」の面からも、町会内の人を知るということは非常に大事なことなので、ぜひ夏祭りを開催して町会の人を知って欲しい。
- ・夏祭りをただの飲み食いの場で終わらせるのではなく、議論の場を設けるなど、新しい視点から何かを付け加え、他の夏祭り等を参考にして、毎年バージョンアップして欲しい。
- ・事業にかかる費用について、1%の補助金に頼りきっているわけではなく、団体でも負担しているのでいいと思う。

#### 【採択結果】

合計点 90.5 点  $\geq$  60 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.0
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.5
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.5
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.0
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	9.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.0
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	10.0
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	9.0
合 計		90.5

●5:「かかしコンテスト」による葛原地域活性化事業／葛原町会

【主な意見】

- ・弘前ではこのような事業がなかなか無く、貴重だと思う。多くの見物客がくるよう、かかしを設置する前からPRをしてほしい。
- ・事業を続けてくれる後継者がいるのかが問題。かかしコンテストが地域のお祭りとして定着し、盛り上がってくれば、若い人も協力してくれるようになるのではないかな。
- ・近隣の地域も巻き込んで広域で行われるような努力をしてもらいたい。
- ・500円のかかし制作費を参加者に支払ったり、表彰に関わる費用を補助対象として計上するなど、1%システムの補助金に頼りきった印象を受ける。参加料をもらうなど、補助金に頼らない方法も考えてほしい。
- ・かかしの製作にかかる個人負担など、予算には計上されていない経費があると思うし、賞品が出ることは参加者の励みになるので、事業を仕掛けてすぐの時期には必要なことだと思う。

【採択結果】

合計点 79.1 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	6.8
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	6.8
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.1
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	7.7
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	6.8
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	8.6
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.6
合 計		79.1

●6: 相馬地区交通危険箇所啓蒙事業／相馬地区交通安全委員会

【主な意見】

- ・この事業は1%システムの趣旨とは離れている気がするので、市のほうで再度協議してほしいと意見書を提出すべきか、回転灯は必要だということで採択すべきか、判断が難しい。
- ・町会の費用と各世帯の負担で設置できるのではないか。
- ・高所作業台とガソリン代は構成員が負担するという、自分たちの手でやれることはやって最低限の部分だけで補助金の申請をしたということが評価できる。
- ・回転灯を設置するだけでなく、交通安全委員会のかたや地元の人たちが、事故が起きないように交通安全運動を進めていくのであれば設置にも意味があると思う。
- ・回転灯を設置することによって、道路利用者の事故防止につながるなら、利益を受けるのは市民なので、設置に市税を使うことに合理性を感じる。

【採択結果】

合計点 78.6 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.6
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.6
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	8.6
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	7.7
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	8.2
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.6
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	6.4
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	6.8
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	7.7
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	7.3
合 計		78.6

●7:藤沢活性化施設「持寄館」の整備事業／藤沢町会

【主な意見】

- ・相馬や岩木は、合併前は集会所を町や村で管理していたが、旧弘前市では一般的に地域にあるものは町会で管理していることが多いため、合併後は旧弘前市の方向性に合わせたという経緯がある。
- ・地域の集会所や公民館は、災害が起きた時など、いざという時に避難所になる。拠点となる建物が地域にあると、地域がまとまるもので、集会所はこれからも大事にしていかななくてはならない。
- ・自分たちの地域で所有する建物なのだから、町会の積み立てで修理費を出すなど、自分たちでやるべきだと思う。
- ・自分たちの集会所のメンテナンスは自分たちで対応すべきと思うが、今回の場合、世帯数に合わない大きな建物を移管されて管理していかなければならない苦労はあると思う。
- ・1%システムへの申請に向けて、町会内では普段しないような協議がされていると思う。そこでまずコミュニティの場が発生しているとも考えられる。

【採択結果】

合計点 66.8 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 11 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	5.5
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	5.9
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	6.8
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	6.4
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	7.7
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	8.2
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	5.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	5.9
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	8.2
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	6.8
合 計		66.8

●8:弘工高美術 OB 展・百石町まるごと美術館展／弘工高美術 OB 会

【主な意見】

- ・他県にも街をまるごと美術館にしようということで地域が中心になって実施して、まちおこしになっている事例がある。自分たちの作品をただ展示するだけではなく、まちの活性化につなげたいという発想はとてもいい。
- ・百石町は、飲食関係の店舗が多い。飲食店の中に「展示品を見せて欲しい」と言って入っていくのがイメージできない。
- ・OB会単独で事業を進めるよりも、展示場所となる百石町振興会との実行委員会形式でやっていけばいいのではないかな。
- ・地域活性化に参加しようという団体が増えることには賛成。まずはやってみて、色々修正しながら事業を発展させていけばいいと思う。
- ・シャッターが下りている店舗は利用しないということだったが、美術に関する事業なので、シャッターを明るく飾るなどの利用をしていけば活性化につながるのではないかな。

【採択結果】

合計点 75.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択 (申請額どおり)

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.5
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.0
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	8.0
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	6.5
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	7.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	7.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	7.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.5
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	8.0
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	6.0
合 計		75.0

●17:「祝い唄二題」津軽山唄・津軽謙良節全国大会／津軽山唄・津軽謙良節全国大会実行委員会

【主な意見】

- ・大会を毎年続けていくのであれば、基金を集めるなど、資金を確保する方法を考えることが必要なのではないかと。
- ・大会が終わった後に高齢者施設に慰問をするというのはいいことだと思う。
- ・全国的に有名にならないと地元で伝統芸能などを保護するのは難しい。そういう意味でも、全国大会は必要なのではないかと。
- ・レベルが高い人の唄を聞くと、より唄の良さが伝わりやすいと思うので、文化を守るためにも全国大会を続けて欲しい。
- ・大会の審査員が審査会の時点できちんと決まっていなかったというのが非常に残念。大会やコンテストでは、出場者の募集をかける時点で審査員が誰かということをきちんと明記するべきではないかと。

【採択結果】

合計点 88.5 点  $\geq$  60.0 点 ⇒採択（申請額どおり）

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.5
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	9.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	9.0
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	7.5
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	8.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	10.0
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	10.0
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	8.5
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	9.0
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	8.0
合 計		88.5

● 12 : CLAP YOUR HANDS 2012 & ワークショップマラソン/CLAP (クラブ)

【主な意見】

- ・ 去年からの継続事業だが、今年はパフォーマンスを披露する場を提供するだけでなく、様々なジャンルのワークショップを開催するという事なので、応援していきたい。
- ・ 土手町を利用したダンス等のパフォーマンスのイベントが、若者たちのエネルギー発散の場になっているように思う。多くの人たちに広まって行って、いずれは企業協賛等を得て独自の開催ができるようになってほしい。
- ・ 市民、特に若者の活動の選択肢が増えて、可能性が増えるということに貢献しているように思う。

【採択結果】

合計点 89.0 点  $\geq$  60.0 点 ⇒ 採択 (申請額どおり)

※審査委員 10 名で審査採点

審査項目		評価 (平均点)
公益性	① 事業の効果が特定の者に限定されない	8.5
	② ひろく不特定かつ多数のための利益増進のものとなっている	8.5
必要性	③ 地域社会における課題を的確にとらえている	7.5
	④ 市民ニーズに対応する解決策として有効なものとなっている	8.5
実現性	⑤ 計画や予算が具体的で、事業の実施手段や体制などが合理的である	9.5
	⑥ 提案されている事業が実現可能なものとなっている	9.5
将来性	⑦ 事業効果が一過性ではなく、継続性が期待できる	8.5
	⑧ 将来的に広く波及効果が期待できる	9.5
費用の 妥当性	⑨ 事業の内容・規模に合った予算になっている	10.0
	⑩ 費用対効果のバランスがとれている	9.0
合 計		89.0



7月14日審査結果（18事業のうち7事業）

採択とする事業                      7事業

2次募集事業の審査結果（18事業）7月14日・15日審査合計

採択とする事業                      17事業

不採択とする事業                    1事業